

私たちが提供するリハビリ ～つながる輪～

私たちのリハビリテーション部には令和6年8月現在70名の職員が所属し、大きく3つの施設に分かれて患者や利用者を支援しています。『それぞれ建物も違うのに、どうやって情報共有してるの?』そんな疑問にお答えするため、今回は私たちが普段どのように連携を取っているのかお伝えします!

●3施設の機能紹介：

① 記念病院

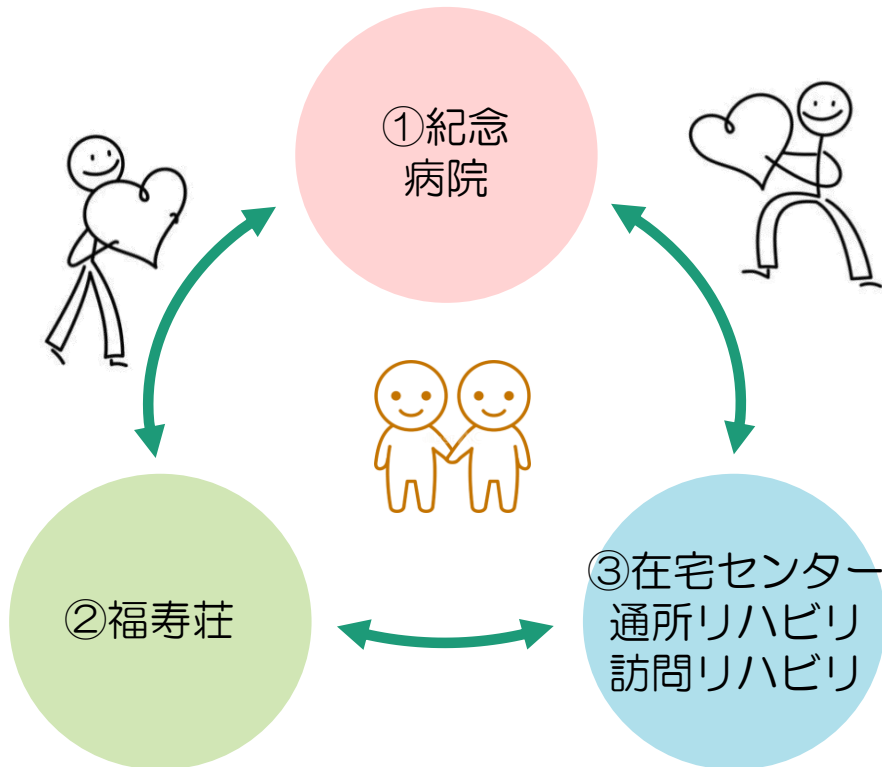
日常生活を送るために必要な動作の改善を目的として基本動作練習や生活動作練習等を行い自宅復帰を目指しています。

② 福寿荘

施設に入所してリハビリが受けられます。住み慣れた地域や自宅に安心して戻れるよう、利用者の生活に根差した機能改善や自立支援を図ります。

③ 通所リハビリ・訪問リハビリ

住み慣れた家で生活を送りながら自分らしい暮らしが実現できるよう支援します。通所施設に通ったり、療法士が自宅を訪問しリハビリを行うことで、日常生活の支援や機能向上を行っています。



私たちは機能改善や機能向上を通して、住み慣れた地域で日常生活を送るための支援を行っています。

●情報共有の方法：

情報がつながり輪になるよう、私たちは独自の『連携シート』を使用しています。連携シートには現病歴、心身機能評価、治療プログラム、患者や利用者及び家族の希望などが記載できるようになっています。連携シートを用いることで円滑にリハビリの移行ができ、患者や利用者の変化がわかりやすくなる等の利点があります。連携シートで疑問に感じたことについては療法士が直接情報共有し、患者や利用者が安心してリハビリが受けられるようになっています。



患者や利用者のその人らしさを大切に、「今」と「これから」の生活を見据えて取り組んでいます。